

令和6年度 第2回福井市地域生活交通活性化会議 議事要旨

日時	令和6年8月28日(水) 9:30~11:30
場所	福井市総合ボランティアセンター(ハピリン4階)
議題	別添「次第」の通り
出席者	別添「座席表」の通り
	<p>2 議事</p> <p>議案1：令和5年度収支決算報告について (資料に基づき、事務局より説明)</p> <p>原案のとおり承認。</p> <p>議案2：殿下地域コミュニティバスの運行計画変更について (資料に基づき、事務局より説明)</p> <p>原案のとおり承認。</p> <p>議案3：乗合タクシーの運行計画変更について (資料に基づき、京福バスより説明)</p> <p>委員 参考に、中藤乗合タクシーの日祝の利用状況が分かれば教えてほしい。</p> <p>委員 今のところ、ほぼいないということで聞いている。日祝は極端にいないということで、減便させていただきたいということである。</p> <p>委員 事務局でご存じだったら、教えていただきたいが、赤十字みのり乗合タクシーについて、駅前電車通りの停留所が西口再開発に伴い休止中であるが、再開の目途が分かれば教えていただきたい。</p> <p>委員 分かる範囲であるが、少なくとも2年はB街区の工事が続くと聞いている。ただ、工事の進捗によって変わってくると思うので、決まったらお知らせしていきたい。</p> <p>委員 情報によると、入居するスポーツクラブの送迎バスが2台ぐらい停まっていたりして、停まれる状況なのではないかと一般のご利用者の方から、支局へご意見をいただいている。工事は2年後かもしれないが、捌き等で使える状況であれば、ぜひ工夫して停留所の早期回復に努めていただければと思う。</p> <p>原案のとおり承認。</p>

議案4：京福バスの運行計画変更について

(資料に基づき、事務局及び京福バスより説明)

会長	この会議を踏まえて今後どうなるのかについて事務局から補足ができるか。
事務局	本日の会議を踏まえて、明日県の交通会議があり、同じ内容を諮ることになっている。
委員	開発の方など東方面のバスが無くなってしまい、えちぜん鉄道に頼りきりになってしまう。しかし、えちぜん鉄道の路線だけでは、開発地域のカバーがなかなかうまくいかないんじゃないかと思う。 そうした時に、36系統県立病院丸岡線や39系統大和田丸岡線を一部開発地区を通るようにするとか、あるいは、えちぜん鉄道で何かサービスを行うとか、そういう対応が別途いるのかと思うが、どうか。 過去20年間ほど、のりのりマップを作成していると、36系統や39系統は状況に応じてルートを変更してきている。
委員	今すぐには難しいが、地元の方とも話をして今後検討していきたい。
会長	高校生などの学生の通学等に関して、実際に大変だという声も聞いている。今回は、そこに関して配慮もされるということだが、実際にここに至るまでの調整や説明が大事だと思う。結果は同じかもしれないが、会議を通して決定していくということが果たして機能しているのかという指摘もあるかと思う。今までのことはもう変えられないので、仕方ないが、これからの進め方については、しっかり考えないといけない。
委員	ちょうど東側の松本や大願寺地区に住んでいるが、ここを通るバスの利用状況を個人的にみていると、乗っている人の数はそんなにかなと思っている。えちぜん鉄道のまつもと町屋駅をお願いして作っていただいた結果、利用者が多いということで、事業者側も住民側もお互いWin-Winになったという話も聞いている。まつもと町屋駅から田原町駅の方に向かって、高校に行っている学生もいたり、福井口駅の方に行って、農林高校などに行っている学生もいるし、農林高校には越前新保駅からでも行けるので、この辺のバスが無くなってもなんとかなるんじゃないかと思う。ただ、住宅街もあるので、その辺りの方はどうするのかなとは思いますが、近くにはフレンドタウンや最近できたイオン、その他スーパーや病院など身近にあるので、どこまでバス停が必要なのかと言われると、何とも言えない。お泉水通りの停留所に関しては、よく乗車している方がいるし、駅まで行って市役所に出勤や学校に行く子たちなどが見られる。松本の人はお泉水通りを走るバスに乗る人と、まつもと

<p>委員</p>	<p>町屋駅を利用する人に二分化している印象を受ける。農林高校の前を通るバスは松岡まで行けると思うが、このバスが無くなると、松岡のバス停はどうなるのかなと率直に思う。路線が無くなってしまうのは、寂しい部分があるが、すまいるバスも運行していたと思うので、カバーしあえるのかなと思う。利用者も少ないし、ドライバーもいないのであれば、どこからか削っていかないと継続していくのが厳しいと個人的には思うので、もう少し公共交通の利用促進を色んな地区で行ってもらえば、路線の存続にもなるかと思う。</p> <p>2024年問題は急に言われるようになったことではなく、何年も前からこういったことが予想されるので、それに対する対策を考える必要があった。民間事業者は利益を最優先するのは当たり前なので、それに対して県やら市がどのようなフォローができるかというのは、事務局長を務めて4年目になり、県、市、ハピラインの命名や新駅設置のときから、携わっているが、いろんなところで中々、うまくいかないなとは感じている。</p> <p>例えば、福井市とは関係ないが、武生商工のところの新駅について、入札2か月遅れがなぜ1年も遅れることになるのか。これは、来年の生徒の募集に非常に大きな影響を与えることになる。そういったことも考えての県の主導権が欲しかった。</p> <p>あるいは、丹生高校について、バス路線の変更ということで、越前町から生徒の輸送に関して配慮をいただいたが、これに関しても新聞発表の前日に越前町が慌てて丹生高校に説明に行っており、情報の提供が非常に遅い。</p> <p>それに合わせて、羽水高校も。道守高校や科学技術高校については、昨日福井新聞での報道もあったが、代替の対応をしていただけということで、校長には連絡を取ったが、時間については協議中ということであった。結果が出るまでは、保護者の負担となる。10月17日に県教育長あるいは、県との教育懇談会があり、そういった場でも各学校から色んなご意見をいただいているのでそれを話すことになる。県立高校の公共交通機関の確保については、民間云々ではなくて、県、市、特に県が主導権を持ち、要望の実現をしていただきたい。</p> <p>インバウンドは大事だが、365日生活している交通弱者の足の確保が大事であると前回も言わせてもらった。</p>
<p>会長</p>	<p>小学生、中学生が高校を選択する時に、交通が不安だから高校に行けないだとか、選択できないというのはあってはならない話であり、一番重要である。あと、説明についても、他のところでも直前にしか説明がなくて、中々すぐに対応できないといったことを聞いている。これは信頼の問題であり、一回利用者にそっぽを向けられるともう利用してもらえないということになる。関係市の中で議論しているというのも分かるが、それを利用者に対してどう伝えたり共有していくかということも大事だと思う。その中で、この会議をど</p>

	<p>のタイミングで開催するのかとか、どのように進めていくのかというあたりは、検討の余地があるかなと思う。他のところを聞いていても、同じようなことが起こっているということは聞いている。</p>
委員	<p>中高生の問題だが、一番交通弱者で行動範囲が広い人たちであるが、通学での配慮はかなりされていると感じている。これが十分かどうかという問題はあるかと思うが。ただ、クラブ活動の人達への対応は切り捨てられていると感じる。また、もっと大きな問題は、運動公園線で起こっていることだが、土日の中高生の活動とか大会で中高生が大量に運動公園に行く際は特に積み残しが起きている。また、乗り降りするのに、すごく時間がかかっている。こういう時の対応を考えられないのか。例えば、臨時バスを運行するにしてもいろんな問題があると思う。誰が運行するのかとか、誰が要望するのかとか、それに対応できるのかなどがあると思う。中高生については、この問題についても考えてあげなければいけないと思う。</p> <p>前は、運動公園線は1時間に3便運行していたが、それがコロナで2便になって、今では1便になってしまった。それだけ減便してしまうと、利用者が困ってしまうのと、都市計画上の問題で、都市の幹線バスは1時間に2本のバスを設けてくださいとなっている。鉄道も同様で、今は何とか30分に1本を確保していただいている。バスについても少なくとも幹線バスである、運動公園や学園線、済生会問屋団地線、丸岡線とかこれまで30分に1本運行していた路線については、今は仕方ないにしても、いつ復活させてバスしての幹線軸を整備しなおすかということをして次の課題として、考えてほしい。</p>
委員	<p>監督省庁としての要望として補足させていただきたいが、学園線とか運動公園線とか、30分ヘッドだったものが、1時間ヘッドになり、土日の中高生の積み残しが出ているという状況もある。あと、影響が出ていると思われるのが、終発の繰り上げである。この10月の再編で、ほとんどのバスが20時半で終わってしまう。つまり、福井駅から20時半以降、バスが全くなるといった状況が目に見えてくる。そうすると、駅前の商店街とか、居酒屋、学生の塾などが20時半以降全く対応できないということになる。せっかく新幹線がきても、東京から最終で帰ってくるとバスがないという状況が出てくる。今回は、運転手が不足してやむを得ないと思う。福井県も福井市も一体となって、運転士の確保をかなり頑張ってもらっていており、運転士がこれ以上やめないようにも活動をしていただいているが、運転士が確保できた段階でどのような優先順位でバスを復便していくのかというルール作りについて、あらかじめ考えてほしい。バスの運転士は取りあいであり、大野市や、坂井市、あわら市でも血眼になって行政主導で運転士を探している。おそらく、民間事業者であれば、運転士が新たに確保できれば、高速バスや貸切バスに充てると思う。儲かるので。路線バスは中々収支があがらない事業なので、</p>

	<p>どの路線から復便していくのかは福井市の中でも優先順位を決めてもらって、あらかじめ京福バスと申し合わせをしておくというようなルール作りを早急にしていただきたい。減便したままでは、福井市の中心市街地の活性化にも全くつながらないし、土日の学生とか利用者の活動にも影響してくると思うので、まちづくりの観点からも商工部局とも連携してご検討いただければと思う。</p>
委員	<p>路線バスが無くなるのに合わせて、停留所も無くなるのであれば、しっかり撤去をお願いしたい。</p>
委員	<p>羽水高校へのレイニーバスが運行されていたと思うが、今後再開の目途があるのか、取りやめになるのか本社から問合せがあったので確認したい。また、減便や廃止等で当社への代替という路線があったかと思うが、沿線利用者への今後の周知方法についてどう考えているのか教えてほしい。最後に、今回の減便等については大変な状況を聞いているので仕方がないと思うが、接続がある交通事業者としては、減便や便数というよりは、ダイヤの方が重要でどの時間帯でどのように接続するかということが一番情報としてはほしいので、今後何かしら変更があれば少しでも早く情報を提供してほしい。</p>
委員	<p>レイニーバスに関しては、4月から運行をやめており、学校側にも了承いただいている。今後については、今のところ未定である。沿線利用者への告知については、来週からバス停の方にお知らせを掲示する予定である。利用者への説明という意味ではどこまでできるか分からないが、関連する施設等には説明する予定である。ダイヤの提供については、できるだけ早く行っていきたい。</p>
委員	<p>収益事業である高速貸切バス等を止めて、生活路線バスの方に回すということで、今まで何とか生活路線維持を頑張ってきた。レイニーバスもそうだが、4月から契約輸送やスクールバスも収益のあがる事業であるが、周辺の事業者にも全部譲って、赤字である路線バスを維持するために頑張ってきた。その中で、利用者には少しでも不便をかけないようにということで、ダイヤを組んできた。どこかを優先してやっていかなければならないということで、苦慮してダイヤを作成したところである。それから、先ほど復便の話があったが、福井市内だけを走っている路線については、補助金を充分にもらえておらず、赤字が解消できていないという実状がある。一方で、国の支援があるところは何とか赤字分をもらっている。市内については、復便してほしいという路線が特に、補助金をもらえていない。なので、これ以上走ってほしいということについては、赤字を膨らませるような収支構造になっているとい</p>

	<p>うことをご理解いただきたい。本当は収益部門を行いたい、中々できない中で、生活路線バスを守るという事業の中で、どういうふうにして社会全体で支えていくかという仕組みづくりを考えてほしい。欲を言えば、貸切事業と同じような利益が出る事業であれば、たくさんの事業者が実施できるようになると思う。周辺の貸切バス事業者に路線バスを助けてほしいとお願いをしても、収益が出ないところには手を出さず、収益が出るところしかやらないという構造になっている。路線バス事業は、一番はお金の問題になるが、まずはそこから支援をお願いしたい。</p> <p>原案のとおり承認。</p> <p>議案5：路線バス代替交通緊急確保について (資料に基づき、事務局より説明)</p> <p>委員 緊急的な代替交通を確保していただいて感謝する。何点か質問させていただく。まず、半年間の緊急輸送措置ということであるが、4月以降の運行の判断はどのタイミングですか。また、清水織田線に関しては、越前町もプラント3に出る交通手段を課題として持っていると聞いている。越前町との連携の状況はどうか。</p> <p>事務局 まず1点目の質問である4月以降の運行については、利用状況なども含めて総合的に判断していくこととなるが、4月以降も運行を続けるのであれば、来年度の当初予算で計上する必要があるため、年明け早々には判断をしていかなければならないと考えている。</p> <p>越前町との連携についてだが、今回の代替交通緊急確保について越前町にも話をしたが、越前町は特に必要がないとのことであったので、福井市地区のみの運行とした。</p> <p>委員 越前町との連携については、支局が聞いている話とは少し違うので、コミュニケーションを密に取ってほしい。越前町からプラント3に行く需要が多くて、越前町と共同運行をすると、福井市清水地区の人が乗れないのではないかという話などいざこざがあって、福井市のみでの単独運行に落ち着いたと越前町から聞いている。1月に4月からの運行について判断するというのであれば、継続して越前町との調整もお願いしたい。</p> <p>委員 率直に、運賃を無料にする必要があるのか。</p> <p>事務局 今回は廃線や減便に伴い、早急に対応しないといけない状況であった。運賃を取るということになると、運輸局にも申請が必要であり、期間が必要とな</p>
--	--

る。それを待つ余裕もなく、10月からとにかく足を確保したいということで、まずは無料で運行を考えている。

原案のとおり承認。

議案6：自動車車庫の新設について

(資料に基づき、京福バスより説明)

原案のとおり承認。

3 その他

・第2次福井市都市交通戦略について

・福井駅周辺地区交通戦略について

(事務局より説明)

・カーフリーデーふくいについて、案内

(ふくい路面電車とまちづくりの会から説明)

委員

話が戻るが、議案6の自動車車庫の運用フローについて、警察として色々な事故や事件を対応するときには一抹の不安を感じるところがある。例えば、フローチャートを見ると、アルコール検査や運行前点検をしてあとから運行管理者に電話連絡するということになると思うが、実際に人の体調管理で、急に意識が無くなったりもあるので、運行前に体調、顔色、しぐさを確認することが大事である。また、帰ってきたときに、当て逃げしてきたとか、ひき逃げしてきたとかがあると、精神的に動揺している場合もあるので、そういうことを外観上見るというのも大事になってくる。そういうことを考えると、電話だけの連絡でどこまで確認できるかというのが不安に感じるところである。例えば、テレビ電話みたいなもので、顔色や様子を見るということもできると思うので、検討していただきたい。

委員

現状では動画ではなくて、静止画での確認となっている。貸切バスでは動画で確認することになっていたりするので、路線バスでも検討していきたい。

以上